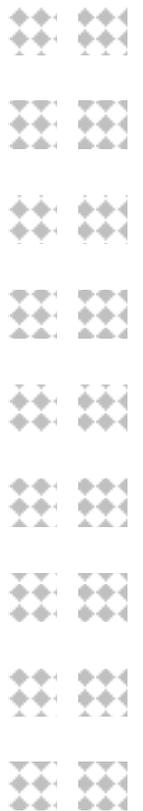


小学校用『われらクリーン調査隊』授業6
「学校そうじの合格基準を作ろう」



ガイドー式



目 次

【全体の概要】	3
【授業6】	
概要	6
授業進行ガイド	7
ワークシートガイド	12

われらクリーン調査隊

小学校対象 / 生活科・家庭科・総合的な学習の時間 / 1 時間(45 分) × 7 授業
※各授業は原則 45 分で完結していますが、2 時間連続での実施を推奨している授業もあります

●授業の概要

われらクリーン調査隊は、掃除について楽しく学び、学校・家庭生活に活かすダスキンオリジナルカリキュラムです。効果的な掃除の指導法を教えてほしいという先生方の声を受け、現職の先生方の力をお借りして開発いたしました。カリキュラムは、学級活動で取り組めるよう、各授業が 1 時間(45 分)で完結するように作成されています(授業 6・発展授業のみ 2 時間(90 分)をお勧めしています)。

カリキュラムは、

- ☑【基礎・基本編】授業 1～授業 5
- ☑【応用編】授業 6～授業 7
- ☑【発展編】発展授業

の 3 段階 8 授業で構成されています。各授業における対象学年を設定していますが、学校やクラス・児童の状況に応じてアレンジして、実施いただくことも可能です。

また全授業ともに、学校の毎日の掃除時間と連動させることで、学習した内容を継続的に実践・応用されることをお薦めします。

●学習指導要領での位置づけ

【生活科】

目標 自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などのかかわりに関心を持ち、地域のよさに気付き、愛着をもつことができるようにするとともに、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、安全で適切な行動ができるようにする。

内容 公共物や公共施設を利用し、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれを支えている人々がいることなどが分かり、それらを大切に、安全に気を付けて正しく利用することができるようにする。

【家庭科】

目標 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な生活に活用できるようにする。

内容 住まい方に関心をもって、整理・整頓(せいとん)や清掃の仕方が分かり工夫できること。

【総合的な学習の目標】

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

● **授業の構成** ※本授業の背景を色づけしています。

基礎・基本編

授業 1 どうしてそうじをするのだろう(45分) 【対象:全学年】

掃除に対して日ごろのような思いで取り組んでいるかなどを振り返らせ、掃除をしなかったらどうなるかを想像したり、実際に教材を確認したりしながら、掃除の必要性について探っていく。

※低学年向け授業案・教材と、中・高学年向け授業案・教材を用意しています。

授業 2 そうじ用具を正しく使おう(45分) 【対象:全学年】

掃除用具の正しい使い方について学習する。ダスキンが提供する映像教材や、実習を通して掃除用具に対する理解を深め、掃除に対する意欲向上にもつなげる。

※ぞうきん・ホウキ(チリトリ)・掃除機・モップについて学習できます。

授業 3 学校そうじの正しい手順を知ろう(45分) 【対象:全学年】

掃除の正しい手順について学習する。ダスキンが提供する映像教材や、実習を通して掃除手順に対する理解を深め、これからの掃除に対する意欲向上にもつなげる。

※黒板の拭き方、窓の拭き方、階段の掃き方、廊下の掃き方、トイレ掃除について学習できます。

授業 4 身近にあるものを使ってそうじをしよう(45分)【対象:全学年】

学校にはどのような汚れがあるかを確認した上で、汚れに対して効果的な掃除方法、身近なものを掃除用具として活用できることに気づき、実際に効果を感じることで今後の活動への意欲を持たせる。

授業 5 よごれにあったそうじの方法を調べよう(45分) 【対象:中・高学年】

実習を通して、汚れにあった掃除方法、用具を正しく選択することの大切さに気づく。また、汚れにあった掃除方法を考え、正しい方法を知ることで、これからの生活に活かしていこうという意欲を持たせる。

授業 6 学校そうじの合格基準を作ろう(90分推奨) 【対象:高学年】

学校をいつもきれいにするには、どうすればよいかを考え、誰もが理解できる学校掃除の合格基準を作成する。担当場所の合格の状態をデジタルカメラで撮影し、合格基準を保つためにはどのような掃除をしたらよいか、掃除の手順を見直し、考える。

授業 7 世の中にはどんなそうじがあるのだろう(45分) 【対象:中・高学年】

家庭や学校などの身近な掃除から、それ以外の場所の掃除やプロの掃除まで掃除に対する児童の意識を広げる。そして、快適な生活を保つために、地域の人や掃除のプロが、常に努力をしていることに気づかせ、社会での掃除の必要性を理解させる。

発展 下級生にそうじの大切さや方法を伝えよう(90分) 【対象:高学年】

掃除の大切さや掃除用具の正しい使い方、手順をふりかえり、他の学年に伝えることで、掃除に対する理解を深め、毎日の掃除時間への応用につなげる。

※【基礎・基本編】の学習後に実施いただくと効果的です。

※きょうだい学級など、高学年が低学年の掃除を手伝うときにご活用いただけます。

応用編

発展編

●授業のねらい

学習項目	知識・理解	関心・意欲・態度	思考・判断・ 創意工夫	技能・表現
授業1 どうしてそうじをするのだろう	<ul style="list-style-type: none"> 掃除の大切さ、必要性がわかる 生活していると自然に出る汚れと人間が出す汚れに気づく 	<ul style="list-style-type: none"> 掃除に関心を持ち、汚れや掃除をすることに興味を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 掃除をしなければどうなるのかを考える 	
授業2 そうじ用具を正しく使おう	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な掃除用具の使い方がわかる 	<ul style="list-style-type: none"> 学習したことを、掃除の時間に应用したいという意欲を持つ 学習したことを家庭での手伝いとして実施してみようという意欲を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 掃除用具の効果的な使い方と、効果的な理由を考える 	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な掃除用具の使い方を習得し、掃除時間などで実践できる
授業3 学校そうじの正しい手順を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な掃除の手順がわかる 	<ul style="list-style-type: none"> 学習したことを、掃除の時間に应用したいという意欲を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な掃除手順と効果的な理由を考える 	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な掃除の手順を習得し、掃除時間などで実践できる
授業4 身近にあるものを使ってそうじをしよう	<ul style="list-style-type: none"> 身近なものを工夫することで、効果的な掃除用具になることがわかる 	<ul style="list-style-type: none"> 掃除に関心を持ち、積極的に掃除に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> どのようなものが掃除用具になるか考える 身近なものが掃除用具として、どのように活用できるかを考える 	
授業5 よごれに合ったそうじの方法を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> 汚れの種類によって掃除の仕方や掃除用具を工夫することがわかる 	<ul style="list-style-type: none"> 掃除に関心を持ち、積極的に掃除に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> 汚れに合った掃除の仕方はどのようなものか考える 汚れに合った掃除用具や掃除方法はどのようなものか考える 	
授業6 学校そうじの合格基準を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> 合格基準とは何かがわかる 	<ul style="list-style-type: none"> みんなが快適に過ごせる環境づくりに関心を持つ 合格基準をつくってみようという意欲を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> みんなが快適に過ごせる、きれいな学校にするにはどうしたらいいかを考える 	<ul style="list-style-type: none"> 見る人を意識した撮影ができる 気づいたことをワークシートにまとめられる
授業7 世の中にはどんなそうじがあるのだろう	<ul style="list-style-type: none"> なぜ掃除のプロが求められているのかがわかる 	<ul style="list-style-type: none"> 快適に生活するために、今後の掃除に対しても、意欲的な姿勢を示す 	<ul style="list-style-type: none"> 掃除のプロの話を知った上で、掃除にはどのような意義があるか考える 	
発展 下級生にそうじの大切さや方法を伝えよう	<ul style="list-style-type: none"> 要点をまとめて整理する 	<ul style="list-style-type: none"> 他の学年に掃除の大切さや必要性を伝えようという意欲を持つ グループで協力して活動しようとする態度を示す 	<ul style="list-style-type: none"> 相手にわかりやすく伝えるためには、どのようなことに気をつけなければならないかを考える 	<ul style="list-style-type: none"> 相手にわかりやすく伝えることを意識して伝える

授業 6 学校そうじの合格基準を作ろう

【対象：高学年】

学校をいつもきれいにするには、どうすればよいかを考え、誰もが理解できる学校掃除の合格基準を作成します。担当場所の合格基準に満たした状態をデジタルカメラで撮影し、この状態を保つためにはどのような掃除をしたらよいか、掃除の手順を自分たちで見直し、考えます。その内容は、これからの掃除時間での実践につなげます。

進行概要 <45分授業×2>

1 時間目

	min	概要
導入	5	どうしたら学校をいつもきれいにすることができるかについて考えることを伝える
展開 ①	10	なぜ学校をきれいにしなければならないのかを考える 学校を「いつも」きれいにするためには何が必要かを考える
〃 ②	15	人によってきれいと思う感覚に違いがあるということに気づく 「基準」を作ることの大切さに気づく
〃 ③	10	基準は、誰もがわかるように具体的にまとめることが大切であることに気づく
まとめ	5	授業を振り返り、学校掃除の合格基準を作ることを伝える

2 時間目

	min	概要
展開 ①	15	グループで協力して合格基準を仕上げる
展開 ②	25	合格基準を発表する ・他グループの発表を聞くことで新たな視点を獲得する
まとめ	5	作成した合格基準を満たしていくことを伝える

使用教材

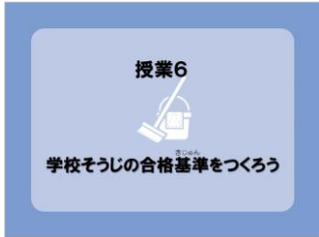
	タイトル	仕様	画面	概要	使用
①	スライド教材 (学校の合格基準をつくらう)	Microsoft® PowerPoint®	10 画面	いつもきれいにするためにはどのようにしたらよいかを学習するための教材	教師
②	ワークシート (合格基準シート)	Microsoft® Word® (A4 サイズ)	1 枚	合格基準についてグループでまとめたワークシート	児童

準備物

機 材 :
 ・PC(スライド教材の準備)
 ・スクリーン
 ・プロジェクター

「学校そうじの合格基準を作ろう！」 授業進行ガイド

1 時間目

	進行用スライド		流れ
導入 5分	 	ねらい 進行・教師の投げかけ	<p>●授業の見通しを持たせる ●学校の中で汚れている場所に気づく</p> <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校(教室)はきれいだと思いますか？ どこがきれいですか？ どこが汚れていますか？ どうして汚れているのでしょうか？ <p>※事前に児童に学校はきれいだと思うか、どこがきれいではないと思うかなど、アンケートを取っておき、それを発表してもよい</p> <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今、学校はあんまりきれいではないという人がいましたね。では、どうしたら、いつもきれいにできるのかを、今日は考えましょう。 みんなが気持ちよく勉強できる教室や学校にして、保護者の方やお客様から「この学校はいつもきれいですね」と言ってもらえるようにみんなで勉強しましょう。
展開① 10分		ねらい 進行・教師の投げかけ	<p>●なぜ学校をきれいにしなければならないのかを考える ●学校を「いつも」きれいにするためには何が必要か考える</p> <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> はじめに、どうして学校はきれいにしなければならないと思いますか？ <p>※みんなで使う場所(公共の場)をきれいにすることの大切さに気づかせる</p> <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> そうですね。学校はみんなが勉強したり給食を食べたり、たくさんのお客さまが来られる場所です。みんなで使う場所(公共の場)だからこそ、みんなが気持ちよく過ごせるように、学校はいつもきれいにすることが大切なのです。 <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> 次に、学校や教室を『いつも』きれいにするには、どうしたらいいのでしょうか？ <p>→予想される答え: 毎日掃除をする、一生懸命掃除する、掃除用具を工夫する、洗剤を使う</p> <p>※児童から出た意見を板書する</p> <ul style="list-style-type: none"> なるほど、どれも正しいと思います。他にはどんなことが考えられるでしょうか？もっとほかの意見はないですか？

		<p>ねらい</p> <p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>●基準は、社会でも非常に重要であることを理解する</p> <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校をいつもきれいにするために、基準をつくるのが大切だということがわかったと思いますが、これは学校だけの話ではありません。 日本全国にあるミスタードーナツでは、どこで買っても同じ味、同じ形です。同じ名前のドーナツが、この店は甘くて、あちらの店はちょっとしょっぱい、ということはありませんね。これは、材料や分量、温度管理、などが決まっているからなのです。 レストランやハンバーガーショップも同じです。人が生活していくうえで「基準をつくる」ということはとても大切なことです。
<p>展開③</p> <p>10分</p>		<p>ねらい</p> <p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>●基準は、誰もがわかるように具体的にまとめることが大切であることに気づく</p> <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基準をつくるのが大切だとわかりました。先生が黒板の掃除基準をつくってみました。※スライドを読む この基準を読んで、みんなどんな黒板をイメージしますか？ では、この基準にそって先生が黒板を掃除してみます。 <p>※子供たちが指摘しやすいような掃除をする</p> <p>黒板を拭く(ただし黒板の拭き方はコの字を書いたり、ぐるぐると円を書くように消す) チョークは真ん中に立てる。汚れは少し残す、プリントはきれいに並べる</p> <ul style="list-style-type: none"> 先生の掃除は、どうでしたか？ →予想される答え <ul style="list-style-type: none"> 汚れが残っている。プリントはもっと上の方に並べた方がいい。 チョークは色をそろえておいた方がいい。 黒板の拭き方がおかしい。もっときれいに落ちる拭き方があるはず。など <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基準を作っても、基準からイメージするものは、人によって違います。基準を満たすための掃除方法を決めるというのも大切です。 <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大切なことは、全員が同じイメージをもつことができるように具体的な基準を作ること、誰がやってもその基準を満たすことができるようにすることです。 <ul style="list-style-type: none"> ●いつでも……………昨日やっても、今日やっても ●だれがやっても……A君がやってもBさんがやっても ●どこでも……………北海道でも九州でも <p>きれいにできるということが、『いつもきれいにしていく』には必要なことで、そのためには誰もがわかる形にまとめることが重要なのです。「この基準はこうです」とポスターのような掲示物を作って見えるようにしておくのも良いかもしれません。</p>

まとめ 5分	 <p>いつもきれいにするために</p> <p>学校の合格基準を作ろう！</p> <p>誰がやっても合格基準を満たせるように、目に見える形にまとめよう！</p>	ねらい ●活動を振り返る
	進行・教師の投げかけ	<p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなで使う学校を「いつも」きれいにするには、基準をつくる大切だということを知りました。また、いつもその基準を満たす状態にするには、基準を目に見える形にしておくことが重要であることもわかりました。 これからの授業で学校(教室)をきれいにするための基準をつくります。 <p>＜これからの活動の流れ＞</p> <p>掃除時間もしくは朝の会や学活等で、担当区域の合格・不合格の状態をグループごとに撮影する</p> <ul style="list-style-type: none"> ※きれいな状態を撮影するには、掃除をする必要があることを伝える ※写真は次の授業までに教師が出力しておく <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> これからみんなに学校のきれいの合格基準をつくってもらいます。保護者の方やお客さまが来られたときにも『この学校はきれいだな』と思ってもらえるような基準をつくってください。

・学校そうじの合格基準を作ろう！ 進行ガイド

2時間目

進行用スライド		流れ	
展開 ① 15分	ねらい	●グループで協力して合格基準を仕上げる	
	進行・教師の投げかけ	<p><活動> ・グループに分かれ、調べたことをもとに、ワークシート(合格基準シート)にまとめる。</p> <p>【説明】 ・担当場所の合格基準を考え、写真を撮ってきてもらいました。基準は、誰もがわかるようにまとめることが大切だと、前回の授業で学びました。そこで、今日は合格基準シートをつくりましょう。掃除場所が変わった時に、他のグループの人たちが、今からつくる合格基準シートを見て掃除をします。その時に、誰もが同じようにきれいにできるように、わかりやすく、具体的に作成しましょう。</p> <p>※撮影したデータの出力を配付する。(事前に出力しておく) ※写真を貼り、合格・不合格の理由の記入をうながす</p>	
展開 ② 25分	ねらい	●他のグループの発表を聞くことで新たな視点を獲得する	
	進行・教師の投げかけ	<p><活動> ①グループごとに合格基準シートを使って発表する(1グループ約2分) ※合格基準として特に重要なところはどこか、なぜそれが重要なのかも発表させる ②聞いているグループは、発表内容に対して「適切な合格基準だと思うか」などを考える ③発表後、他のグループからの質問に答える ④クラス全体で、「この掃除場所は、今●●グループが作成した合格基準でよいか」の採決を行う。</p>	
まとめ 5分	ねらい	●作成した合格基準を満たしていくことを伝える	
	進行・教師の投げかけ	<p>【発問】 ・みんなで合格基準を作りましたが、作っただけでよいですか。どうしたらいいでしょう？</p> <p>【説明】 ・「いつも」合格になるよう、基準は満たしていかなければならないですよ。作った合格基準を意識して掃除時間に掃除をしましょう。基準のレベルが高すぎて、掃除時間ではとても達成できない、反対にレベルが低すぎて、あまりきれいになっていないなど、やってみて初めて気づくこともあると思います。いつもきれいな学校だと自慢できるように、これからもみんなで協力していきましょう。</p> <p>※何回か掃除をした結果、基準を変更する場合には教師に相談をし、変更してよいことを伝える。(この場合、再度合格の写真を撮影し、合格基準シートを作り直しましょう)</p>	



小学校用 授業 6 ワークシート
合格基準シート

() 年 () 組 グループのメンバー名 ()

の合格基準	
こうなっていたら不合格 <写真をはろう>	こうなっていたら合格 <写真をはろう>
不合格の理由を書こう	合格の理由を書こう

・合格基準を満たしている写真と、満たしていない写真を貼り付けます
 ・調べてきたことをもとに、合格理由・不合格理由を誰もがわかるように明記します